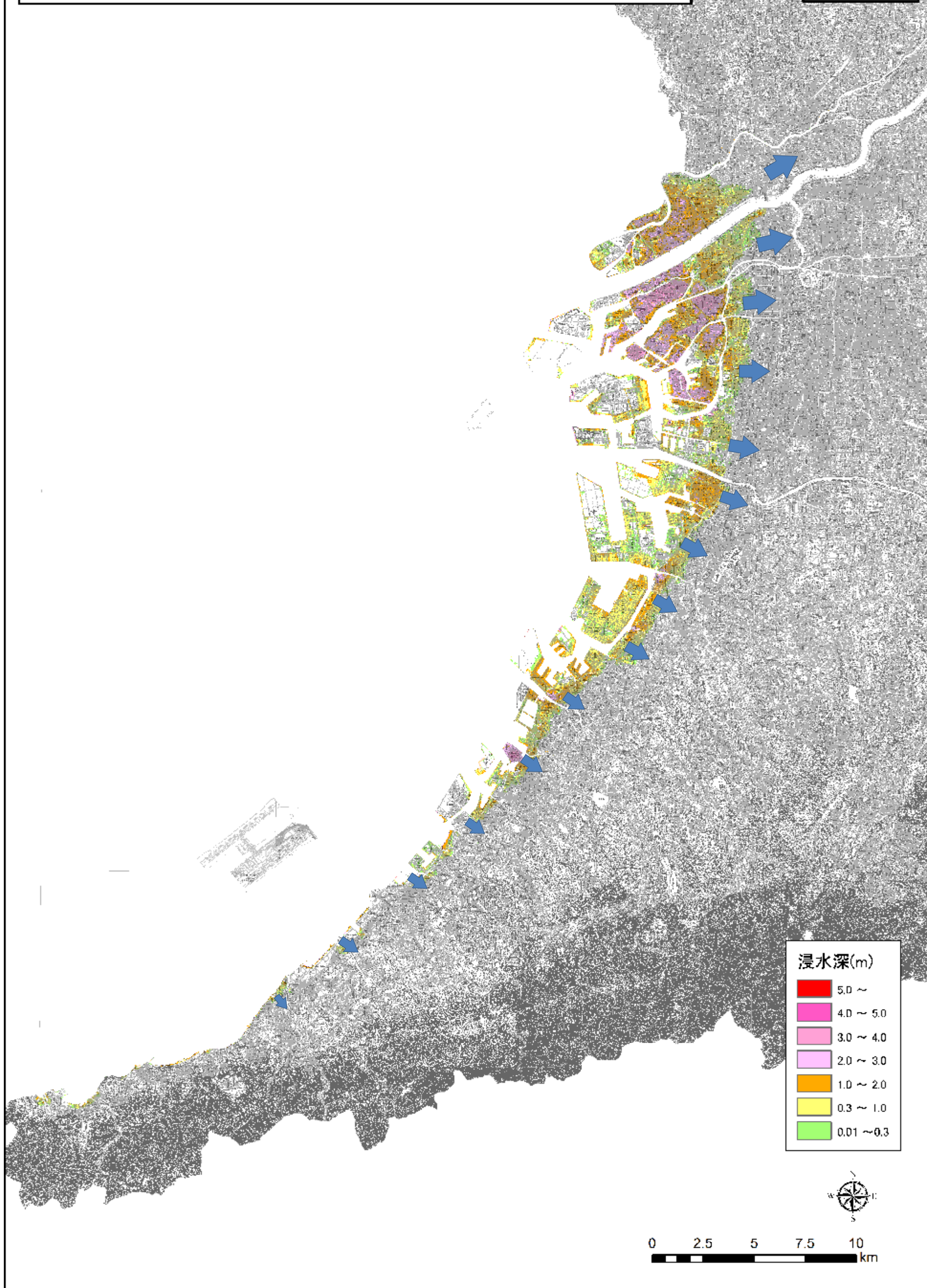


大阪府津波浸水想定(府域全域) (公表イメージ図)

未定稿



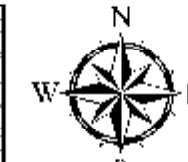
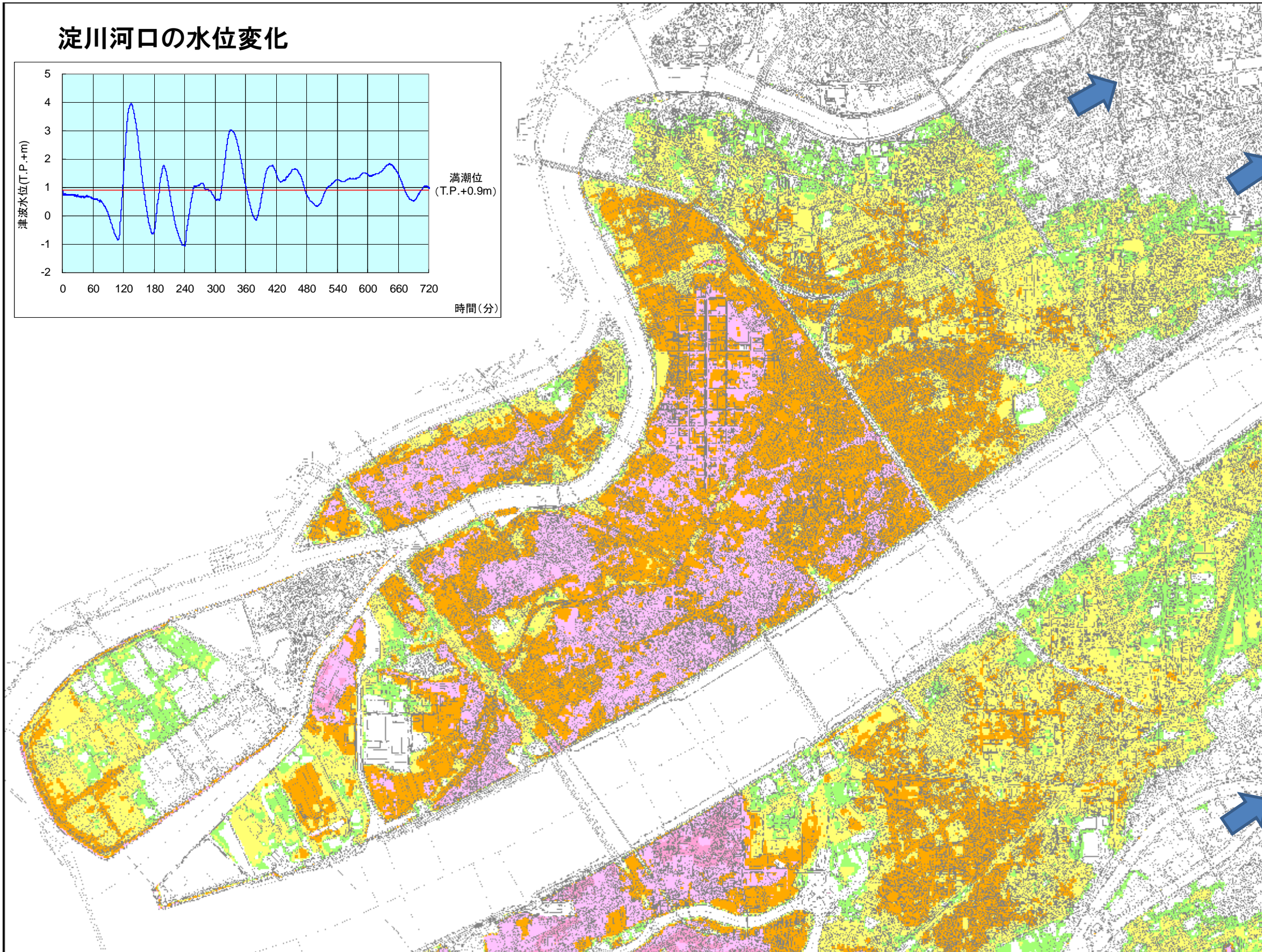
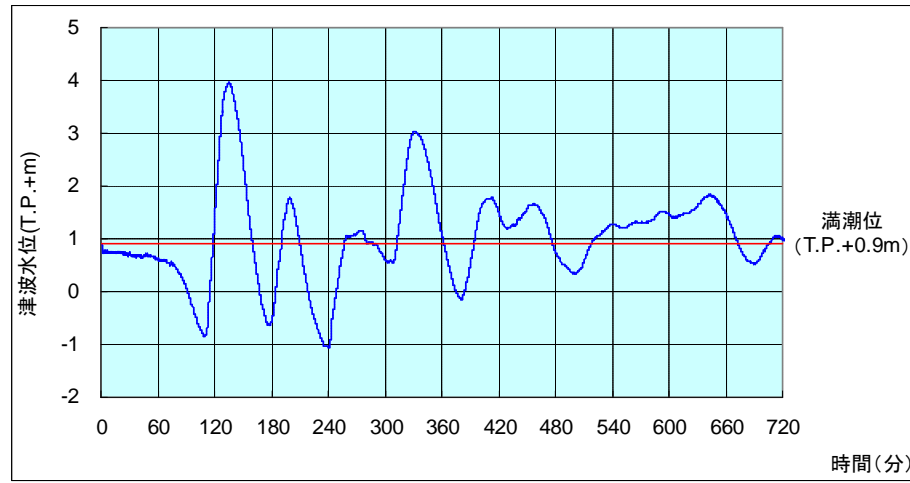
大阪府津波浸水想定(拡大版)

(公表イメージ図)

未定稿

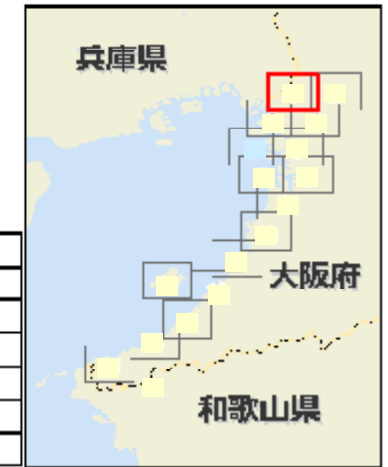
図面番号 1 / 〇

淀川河口の水位変化



浸水深(m)

5.0 ~
4.0 ~ 5.0
3.0 ~ 4.0
2.0 ~ 3.0
1.0 ~ 2.0
0.3 ~ 1.0
0.01 ~ 0.3



【留意事項】

- 最大クラスの津波は、現在の科学的知見を基に、過去に実際に発生した津波や今後発生が想定される津波から想定したものであり、千年に一度あるいはそれよりもっと発生頻度が低いものですが、これよりも大きな津波が発生する可能性が無いというものではありません。
- 津波浸水想定は、最大クラスの津波が悪条件下において発生した場合に想定される浸水域(浸水の区域)と浸水深(水深)を表したものです。
- 浸水域や浸水深は、局所的な地形の凹凸や建築物の影響のほか、地盤による地盤沈下や橋脚等の変位等に際する計算条件との差異により、浸水域外の浸水の発生や、浸水深がさらに大きくなる場合があります。
- 津波は、第1波だけで終わるものではありません。何度ももたってくるものです。また、最初の波だけでなく、第2波以降が大きくなることもあります。
- 地盤沈下、液状化等により、3波が去った後も海水が残り、長期間にわたって湛水していることがあります。
- 津波浸水想定は、避難を中心とした津波防災対策を進めるためのものであり、津波による災害や被害の発生範囲を決定するものではないことにご注意下さい。
- 浸水域や浸水深は、津波の第一波ではなく、第二波以降に最大となる場合もあります。
- 津波浸水想定では、津波による河川内や湖沼内の水々変化を区別していませんが、津波の進上等により、実施には水位が変化することがあります。
- 今後、数値の校正や表記の改善等により、修正の可能性があります。

